

みずほCustomer Desk Report 2019/07/31 号(As of 2019/07/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.89 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.86	1.1142	121.29	1.2216	0.6898
SYD-NY High	108.95	1.1161	121.38	1.2226	0.6908
SYD-NY Low	108.46	1.1133	120.89	1.2120	0.6869
NY 5:00 PM	108.59	1.1155	121.14	1.2148	0.6873

NY DOW	27,198.02	▲ 23.33	日本2年債	-0.2200	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,273.61	▲ 19.72	日本10年債	-0.1500	0.00bp
S&P	3,013.18	▲ 7.79	米国2年債	1.8469	▲ 0.80bp
日経平均	21,709.31	92.51	米国5年債	1.8412	▲ 0.16bp
TOPIX	1,575.58	7.01	米国10年債	2.0589	▲ 0.35bp
シカゴ日経先物	21,485	▲ 140	独10年債	-0.4010	▲ 0.90bp
ロンドンFT	7,646.77	▲ 39.84	英10年債	0.6330	▲ 2.05bp
DAX	12,147.24	▲ 270.23	豪10年債	1.2055	0.05bp
ハンセン指数	28,146.50	40.09	USDJPY 1M Vol	5.46	0.03%
上海総合	2,952.34	11.33	USDJPY 3M Vol	5.94	0.09%
NY金	1,429.70	9.30	USDJPY 6M Vol	6.21	0.06%
WTI	58.05	1.18	USDJPY 1M 25RR	-1.09	Yen Call Over
ORB指数	178.34	0.54	EURJPY 3M Vol	6.37	▲ 0.01%
ドルインデックス	98.05	0.01	EURJPY 6M Vol	6.73	▲ 0.03%

東京	東京時間のドル円は108.86レベルでオープン。日経平均株価が堅調に推移したことや、五・十日の実需によるドル買いに支えられ、108.95まで上昇。公示以降は108.80付近で様子見の展開。昼前に日銀金融政策決定会合の結果が発表され、一部で予想されていたフォワードガイダンスの修正を見送ったことで、株価が上げ幅を縮小する中、108円半は逆下落。声明文に「海外経済の動向を中心に経済・物価の下振れリスクが大きい」と、先行き、『物価安定の目標』に向けたモメンタムが損なわれる恐れが高まる場合には、躊躇なく、追加的な金融緩和措置を講じる」と追記したことにより注目が集まり、東京時間引け後の黒田日銀総裁の会見への関心が高まる中、同水準を推移し結局108.58レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.58レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、ドル売り・円買いが進んだ。正午頃に、トランプ大統領が通商協議での時間稼ぎを止めるように中国に警告するツイートを流すと、米中貿易摩擦が再懸念され、一時108.46まで売られ、108.51レベルでNYへ渡った。本日のドルは1.2152レベルでオープン。前日の合意なき離脱懸念からの本日のドルが下落したが、特段の材料に欠けるなか、方向感なく推移した。1.2190まで上値を伸ばす局面はあったが、結局1.2175レベルでNYへ渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場で108.95まで戻したドル円は、日銀金融政策決定会合で一部で期待されたフォワードガイダンスの変更がなかったことから円買いが強まり、108.46まで下落し、108.51レベルでNYオープン。朝方は6月個人消費・支出が予想と一致する一方、PCEコアデフレーター(前年比)が予想を下回ったことからドル円はやや下押しするが、10時に発表された米7月消費者信頼感指数において期待指数が大きく改善したことなどから予想を上回り、108.68まで戻す。その後も米金利が上昇する動きにドル円も108.70まで戻すが、午後は翌日のFOMC結果発表を控え、調整からややドル売りが優勢となり、108.59レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1133まで下落する局面もあったものの、その後は下げ渋り1.1152レベルでNYオープン。朝方は独7月CPIが予想を上回ったことから一旦1.1160まで上昇する局面もあったものの、その後は米消費者信頼感指数結果を受けたドル買いに1.1138まで反落する。午後は翌日のFOMC結果発表を控え、調整のドル売りに1.1161まで戻し、1.1155レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・玉井

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月30日	8:30	日 失業率	6月 2.3%	2.4%
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-0.1%	-0.1%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	『躊躇なく』の文言、従来よりも金融緩和に向けて前向きになったと言える	
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.5%/1.7%	0.3%/1.5%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	6月 0.4%/0.3%	0.4%/0.3%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	6月 0.2%/1.6%	0.2%/1.7%

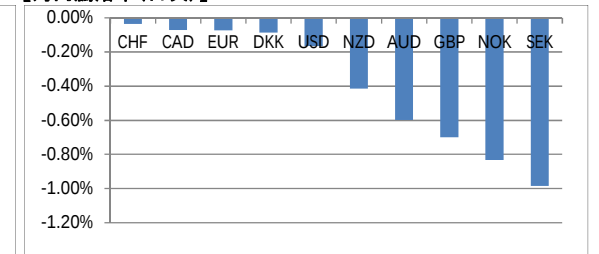
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月31日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	7月 49.6/54.0	49.4/54.2
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	2Q 0.2%/1.0%	0.4%/1.2%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	7月 1.1%/1.0%	1.2%/1.1%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-1.9%
	21:15	米 ADP雇用統計	7月 150K	102K
8月1日	3:00	米 FOMC政策金利	- 2.00%-2.25%	2.25%-2.50%
	3:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1100-1.1200	120.00-122.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は4日ぶり反落。欧州時間にトランプ米大統領が「中国の問題点は、約束を果たさないことだ」等と中国をけん制する発言を行ったことで米中通商問題への懸念が強まり、リスク回避的な円買い・ドル売りが進展、また日銀金融政策決定会合においてフォワードガイダンスの修正がなかったこともあり一時108.46円まで下落。NY時間に渡って、米6月PCEコアデフレーター(前年比)が予想を下回ったことがドル円を下押しするが、米7月消費者信頼感指数が8ヶ月ぶりの高水準に回復したことが好感され、米金利の上昇に伴い一時108.70円まで上昇した。本日のドル円はFOMCの結果に注目。25bpの利下げがほぼ確実視されている中で、サプライズには警戒したい。月末ということから実需のフローも相応量見込まれるものの、東京時間はFOMCの結果待ちで様子見ムードが強まり、値幅は限られると思われる。